日本赤十字九州国際看護大学/Japanese Red Cross Kyushu International College of Nursing

実験的ブログの始めに：感覚的／視覚的／参加的に考える試み

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-10-01 キーワード (Ja): キーワード (En): microlecture, experimental blog 作成者: 守山, 正樹 メールアドレス: 所属:
URL	https://jrckicn.repo.nii.ac.jp/records/683

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.

WB00　実験的ブログの始めに：感覚的／視覚的／参加的に考える試み

https://taiwa-act.blogspot.com/2014/01/blog-post.html

定年まであと 800 日。そこで、マイクロ・レクチャーならぬマイクロ・ナラティブの実験（オンライン講座）を始めることにしました。

一昨年あたりから、欧米の有名な大学が参加する MOOC（無料公開のオンライン講座）がブレークし、これに負けじと日本版 JMOOC も最近活動を始めました。今日、センター試験 2 日目を迎える受験生の間にも、無料のオンライン受験対策講座が広がっています。いまさら、オンライン講座といっても珍しくありません。

でも、あと 800 日しかない大学教員に何ができるかと問いかけた結果、ブログ的なマイクロレクチャーの実験に行きつきました。マイクロレクチャーはオンライン講座の一形式ですが、短時間、３分程度で行います。日本では、私の分野では、まだ前例がありません。テーマは「対話を育てるアクションリサーチ」です。対話を通して感性や思考に働きかける方法を問題提起します。しかし本実験は、レクチャーといっても、パワーポイントのスライドを活用して、情報伝達の効率を追求するようなことではありません。対話 Narrative を大切に、語っていきます。マイクロレクチャーよりは、マイクロナラティブと呼んだ方がいいかもしれません。

昨年末、久しぶりにこの本を読んで「インターネットはやっぱり空っぽの洞窟かもしれない」と振り返り、「フェースブックも、帰結は、全人類の情報管理では」と思い、しばらくは憂鬱でした。しかし電子的に閉じこもり、何も情報発信しなくても、事態は好転しません。それなら、むしろ、実験的に、真逆の、積極的な情報発信を試行し始めることが、意味あると考えました。では、よろしくお願いします。

（守山正樹）